



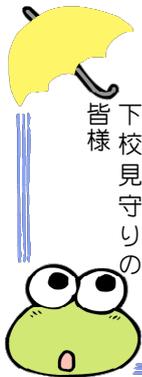
赤麻小だより

第5号

平成26年 6月 2日
発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

学校周辺には、いちめん黄金色の刈り取りを待つ麦畑が広がっています。季節は麦秋を過ぎ、麦雨に濡れた穂は吹き渡る風「麦嵐」に大きくゆったりと揺れ、まるで金色の水面のようです。そして、6月の初旬「芒種」を迎え、イネ科の「芒(ぼう)」をもつ穀物の種蒔き時季となりました。子供たちの下校と一緒に歩いていると、実りの麦畑と田植えのすんだ田んぼの景色に、季節が夏に近づいていることを感じています。子供たちの衣服はすでに長袖から半袖へと衣替えとなりました。

さて、1学期も折り返し地点となります。5月も修学旅行や宿泊学習、プール清掃などを実施いたしました。水泳学習がいよいよ始まります。気温や湿度が高くなり不安定な気候となりますので、バランスのよい食事と十分な睡眠を心掛けていただきまして、子供たちの健康管理に十分ご配慮いただきますようお願いいたします。6月2日からは歯と口の健康週間も始まります。今回のスローガンは「健康は食から歯から元気から」です。歯の健康にも気を配りながら、元気に学校生活を送れるようご協力をお願いいたします。

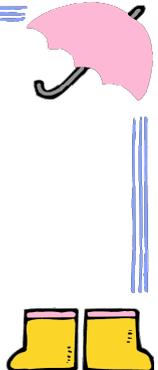


下校見守りの皆様



子供たちの安全な登下校のために、下校見守りの皆様や民生委員の皆様、保護者の皆様等、多くの地域の皆様にお世話になっております。下校の様子や通学路の危険な箇所について、気付いたこととお話ししていただくので、有り難いことといつも感謝しております。

暑くなるこれからの時期、体調に十分ご留意いただき、無理の無い範囲でご協力のほど宜しくお願いいたします。



子供たちの活動から

【修学旅行：雨の鎌倉も乙なもの?! 2日目の箱根は快晴でした】



5月21日・22日の2日間、修学旅行に行きました。

1日目は朝から雨でしたが、子供たちは高德院の大仏前で記念写真を撮り、グループ活動開始。小町通りで子供たちを待ちましたが、どのグループも傘を差しながら友達と協力し、計画したコースを回っていました。江ノ島で集合し寄せ木細工の体験へ。2日目は天気も回復し、関所跡を見学し芦ノ湖の遊覧船に乗り、大涌谷見学の後、ロープウェイ、ケーブルカー、箱根登山鉄道を乗り継ぎ箱根湯本へ。小田原で昼食をとり栃木への帰路に着きました。雨でも晴れでも、修学旅行は友達との思い出が、たくさん生まれました。

【宿泊学習:4年生はパワフルです!】【プール開き!水泳学習の始まりです】



5月28日・29日に4年生が太平少年自然の家へ宿泊学習に行きました。荷物を背負い自然の家まで歩き、大中寺の七不思議について説明を受け、火おこし体験も行い、夜は疲れた様子も無く、元気にナイトハイキングを楽しみました。



5月30日はプール開き。各学年の代表児童が今年の目標を発表し、6年生代表によるデモンストラーションの泳ぎも実施しました。6年生の泳ぎはすばらしく大きな拍手が贈られました。

一人ひとりの目標達成を目指し、たくましい心と体を作ってほしいと思います。

6月の行事予定

- 2日(月) 歯と口の衛生週間
～6日
チャレンジ学級親子体験
学習(ロッテ浦和工場)
- 3日(火) 3年リコーダー講習
- 4日(水) 集金日
3年校外学習
(渡良瀬遊水地)
1年むし歯0事業・親子給食
- 5日(木) 藤岡地区陸上記録会
- 6日(金) 2年校外学習(町探検)
- 10日(火) 読み聞かせ
- 11日(水) 5年臨海自然教室～13日
アルミ缶回収強化日
- 16日(月) 2年校外学習
(渡良瀬遊水池公園)
- 20日(金) 県民の日集会
(全校ピクニック)
- 23日(月) 教育相談週間～27日
- 25日(水) 授業参観・学級懇談会
5年親子活動
- 27日(金) 4年カルビー食に関する指導
- 30日(月) 清掃強調週間～7/4



♪行事・体験学習から学ぶ♪

実感を伴って学ぶ

学校では、いろいろな行事や体験学習を計画し実施します。本校でも遠足や運動会、合奏や合唱の発表に芸術鑑賞、親子給食や昔の遊び体験、町探検、福祉体験、田植え稲刈りなどの農業体験、修学旅行、海や山への宿泊学習とそこでの自然体験など、多様な体験の機会を学校教育活動として組み込んでいます。知識として知っているだけでなく、実際に五感を使って体験することで、生きて働く知識「知恵」となっているからです。そして、これらの体験は学校だからこそ「全ての」子供たちが体験できるのです。5年生で実施する臨海自然教室で太陽が水平線から昇る日の出は感動です。

小学校で教科の基礎基本をしっかり学ぶことはとても重要です。しかし、知識が生きた知恵となるためには、教科書で学ぶ以外に、全ての子供たちに本物の豊かな体験をさせ、実感を伴って学ばせていくことが大切と考えています。

今年も様々な活動に職員一同アイディアを出し合い楽しく充実した活動に努めていきます。

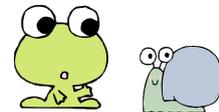


ことば あ・れ・こ・れ (2)

今回は、6月が水無月といわれる諸説をご紹介いたします。(皆さんも調べて教えてください)

- ① 旧暦の6月のことをいい新暦では7月頃に当たるため、暑さで水が枯れる「水無し月」説
- ② 水で悩む時期だという「水悩む月」説
- ③ お百姓さんが田の仕事を全てやり終えた月という意味の「皆し尽きる月」「皆尽きた月」説
- ④ 6月は雷がよく鳴るので「かみなりづき」から「みなづき」説
- ⑤ 6月ぐらいにカッコウが鳴きやむ月という「なきやみづき」から「みなづき」説(ちょっと苦しい?!)

いろいろありますが、農事が終わり田に水を入れる月という意味で「水な(の)月」というのが正しいようで、水無月はいわゆる当て字だそうです。金田一秀穂著「オツな日本語」日本文芸社より



「教室で読みたい詩十二か月」
民衆社より



どあ
はかつやんめ
なわちねなは
でででうだ
しつびとたれ
とんちんでと
しつびともも
とんちんしな
はかつやか
なわちねてよ
ののののるし
うううよ、
たたたた

きあ
はかつやつめ
なわちねとは
ととととだひ
いいいいれと
っっっかり
ししししとじ
よよよい
ににににう
はかつやした
なわちねよえ
ののののだな
うううよい
たたたた

雨のうた

鶴見 政夫

今月は雨の詩です

6月は雨の季節です。この季節を鬱陶しく思うこともあります。作物にとっての「恵みの雨」でもあります。「梅雨」という日本独特の季節を、子供たちに味わってほしいものです。

この詩の「あめはひとりじやうたえない きつとだれかと いっしょだよ」というフレーズに惹かれるのです。

子供の頃は長靴で、水たまりをバシャ!ビシャ!!と水しぶきを上げて歩くのが好きでした。



